

事業番号	06 06 01	事業改善シート（令和7年度実施事業分）	☐ 当初要求	☐ 当初予算案	☐ 補正予算案	☒ 点検
事業名	資源循環システム構築事業費	部局	環境部	課・室	資源循環推進課	
		実施期間	S46 ～	E-mail	junkan @ pref.nagano.lg.jp	

1 現状と課題

- ・循環型社会の形成を推進するため、4 R（リデュース、リユース、リサイクル、リプレイス）の取組を進める必要がある。
- ・県民1人1日当たりの一般廃棄物排出量790gを達成するため、2 R（リデュース、リユース）を強く意識し、県民と一体となりごみを減らすライフスタイルへと変えていく必要がある。
- ・県内の産業廃棄物排出量は約450万tで推移しており、排出事業者等の3 R（リデュース、リユース、リサイクル）及び適正処理に向けた取組が必要である。

2 事業目的

4 Rを意識した取組を一層進めるため、プラスチックごみや食品ロスの削減について継続的な啓発等を実施するとともに、事業者の廃棄物処理に係る意識高揚を図る。

3 事業目的を達成するための取組

①「信州プラスチックスマート運動」の推進

- ・事業者のプラスチックごみ削減に係る取組を後押しするため、「信州プラスチックスマート運動協力事業者」の登録を実施
- ・マイボトルの利用普及を通じてプラスチック使用の削減を推進するため、長野県統合型地理情報システム「信州くらしのマップ」に掲載している給水スポットの活用を呼びかける。

②簡易包装の推進

- ・紙ごみやプラスチック等の容器包装の減量を推進するため、簡易包装プロモート事業により、簡易包装や再利用できる包装（エコバック・風呂敷等）を県民の皆様へ呼びかける。

③食品ロス削減の推進

- ・食品ロスの削減を推進するため、以下の取組を実施
 - 「食べ残しを減らそう県民運動～e-プロジェクト～」の推進
 - ・事業系の食品ロス削減のため、「食べ残しを減らそう県民運動～e-プロジェクト～協力店」の登録を実施
 - ・宴会や家庭での食品ロス削減を呼びかける「残さず食べよう！30・10運動」を推進
 - ・店舗における食品ロス削減のため、小売事業者と連携し、「信州発もったいないキャンペーン」を推進
 - 未利用食品の提供（フードドライブ）の推進
 - ・フードバンク活動の推進のため、県内事業者や県民に呼びかけ



「信州プラスチックスマート運動」啓発ポスター



「信州発もったいないキャンペーン」POP

④事業者の廃棄物処理に係る意識高揚

- ・事業者の廃棄物処理に係る意識高揚を図るため、産業廃棄物3 R実践講習会を開催

4 成果指標

（推移の凡例 ↗：改善 ↘：悪化 →：変化なし —：数値なし）

No.	指標名	単位	R5年度		R6年度		R7年度		R7年度 目標値	達成 状況	目標値設定理由
			実績	推移	実績	推移	実績	推移			
①	「信州プラスチックスマート運動協力事業者」新規登録数	店舗	42	↗	45	↘	34	↘	40	未達成	長野県廃棄物処理計画（第5期）の目標値である令和3年度～7年度までの登録数200店舗から各年度40店舗とした。
②	1人1日当たりのごみ排出量	g	802 (R4)	↗	770 (R5)	↗	769 (R6)	↗	790	達成	長野県廃棄物処理計画（第5期）の目標値
③	「食べ残しを減らそう県民運動～e-プロジェクト～協力店」新規登録数	店舗	53	↗	67	↘	42	↘	40	達成	長野県廃棄物処理計画（第5期）の目標値である令和3年度～7年度までの登録数200店舗から各年度40店舗とした。
④	産業廃棄物3 R実践講習会の参加者人数	人	160	↗	238	↘	159	↘	166	未達成	事業者の廃棄物処理に係る意識高揚の機会として、産業廃棄物3 R実践講習会の近年の平均参加者数を目標値とした。

5 本事業が貢献する総合5か年計画の施策分野と達成目標

No.	施策分野（施策の総合的展開名）	達成目標 （☆印が付いているものは主要目標）	単位	直近3か年の状況						目標	
				年/年度	数値	年/年度	数値	年/年度	数値	年/年度	数値
1-1③	良好な生活環境保全の推進	1人1日当たりのごみ排出量	g	2022 (R4)	802	2023 (R5)	770	2024 (R6)	769	2026 (R8)	757
2-2④	循環経済への転換の挑戦	一般廃棄物リサイクル率	%	2022 (R4)	22.0	2023 (R5)	22.0	2024 (R6)	21.6	2026 (R8)	23.3

6 事業コスト

（単位：千円、人）

区分	予算額					決算額	職員数
	前年度繰越	当初予算	補正予算等	合計 （予算現額）	うち一般財源		
R7年度	0	14,266	0	14,266	2,793	10,996	3.4
R6年度	0	16,909	0	16,909	635	11,618	3.4
R5年度	0	16,384	0	16,384	527	14,458	3.4

7 主な取組実績と成果

「信州発もったいないキャンペーン」啓発デザイン

毎年度講演テーマを変えて実施しており、令和7年度は、社会的認知度の向上が必要と思われる「循環経済（サーキュラーエコノミー）」を講演のテーマとしたところ、目標の166人に対し、159人とわずかに及ばなかった。

9 今後の事業の方向性

(1) 上記 7、8 及び県民の意見等を踏まえた課題

- ・県民、事業者及び市町村と一体となって、4 Rを意識した取組を進める必要がある。
- ・「信州プラスチックスマート運動」の登録事業者の拡大については、周知方法を工夫するなど、引き続き登録を呼びかける必要がある。
- ・産業廃棄物 3 R実践講習会は、事業者に関心を持って参加いただく必要がある。

(2) 事業改善の方策

- ・「信州プラスチックスマート運動」をはじめとして、事業者の取組の後押しをするとともに、消費者に協力・参加いただけるよう、SNS、テレビCM、新聞広告などを効果的に活用して、広報啓発を実施していく。
- ・産業廃棄物 3 R実践講習会について、参加事業者の関心度の高い講演テーマなどを研究していく。

事業番号	06 06 01	細事業一覧（令和7年度実施事業分）	☐ 当初要求 ☐ 当初予算案 ☐ 補正予算案 ☒ 点検			
事業名	資源循環システム構築事業費		部局	環境部	課・室	資源循環推進課

細事業 No.	細事業名		R5年度 決算額	R6年度 決算額	R7年度 決算額
1	資源循環システム構築事業費		14,458 千円	11,618 千円	10,996 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和7年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	信州エコスタイルごみ減量推進事業	直接 委託	・マイボトルの利用普及を通じてプラスチック使用の削減を推進するため、「信州くらしのマップ」の給水スポット地点の拡大 ・贈答品における簡易包装を推進するため、「～想い 伝わる 簡易包装～」をキャッチコピーに各種媒体を活用した啓発のほか、賛同事業者と連携した啓発を実施 ・食品ロス削減の推進のため、「残さず食べよう！30・10運動」、「信州発もったいないキャンペーン」等で各種媒体を活用した啓発を実施 ・飲食店での食品ロス削減のため、「信州食べきりキャンペーン2025」を実施 ・信州プラスチックスマート運動協力事業者 協力事業者数:202事業者756店舗 ・「食べ残しを減らそう県民運動～e-プロジェクト～協力店」 協力店数:1,017店舗 ・「簡易包装プロモート事業」 Youtube動画広告：約22万回視聴、Tver動画広告：約13万回視聴 県内3映画館（長野、松本、上田）でのシネアド放映		
2	産業廃棄物3Rサポート事業	直接	・事業者の廃棄物処理に係る意識高揚を図るため、産業廃棄物3R実践講習会を開催 産業廃棄物3R実践講習会の開催（1回）		
3	長野県廃棄物処理計画（第6期）策定事業	直接	廃棄物の減量化・資源化及び適正な処理を推進するため、長野県循環型社会づくり推進計画（「廃棄物処理計画」から改称）を策定 長野県循環型社会づくり推進計画（「廃棄物処理計画」から改称）の策定		